

法学部 法社会学ゼミ

法社会学の観点から社会問題について取り組んでいます。
ほのぼのとした、雰囲気の良いゼミです！

教育学部 第一類初等教育 教員養成コース学習開発実践専修 米沢崇研究室

より良い教師を育てるための研究をしています。
仲良く楽しくがんばっています。初代ゼミ生と先生の記念写真！



医歯薬保健学研究科

統合健康科学部門 麻酔蘇生学

悪性高熱症、自律神経変動、そして痛みの研究
をしています。手術室カンファレンスルームに
て1枚。

研究室・ゼミ紹介

研究室・ゼミの仲間と一緒に裏表紙に出てみ
ませんか？メンバーで写った写真と以下の項
目を送ってください。

- 代表者の氏名、所属学年、連絡先
(電話番号とメールアドレス)
- 研究室・ゼミ名とその紹介コメント
(50文字以内)

E-mail:

koho@office.hiroshima-u.ac.jp まで



工学研究科 建築計画学研究室

住宅、福祉、建築生産と多分野に広がる建築計画
学研究室！分野は違えど、趣向は同じ！おいで
よ、計画の森！

広島生のための広報誌

HU-style

Jan.2014

vol.

36

Hiroshima University



大学祭を徹底取材!!



でガンバる、
○○な人!

特集

大学祭メインゲストにインタビュー

ラバーガール

大学祭に来たあの人にインタビュー

お笑いに学ぶ コミュニケーション



全国の大学祭に出演されていますが、
広大の印象はどうでしたか。

飛永：ウェルカムな感じがして、やりやすかったよね？

大水：舞台に出た時から、やりやすそうな感じがしていたから良かったです。

飛永：大体一つ目のボケの反応で僕たちのテンションも変わるんだけど、広大は雰囲気良かったです。

コミュニケーションをネタにした面接のコントがありますが、お二人は舞台上で緊張されますか。

飛永：緊張はしない方ですね。周りの芸人さんが緊張している時は、自分は大丈夫なことが多いです。ネタの練習をして落ち着く人もいますよね。(同じくゲストだった) 鬼ヶ島は、いっぱい練習していました。僕たちは、緊張している人を見て落ち着くタイプですね。

大水：ライブの直前は2回練習すると決めています。1回だと本番にミスしてしまうし、3回練習すると飽きちゃう。

飛永：そうやって本番までは、自分たちなりの過ごし方をします。

あまり緊張されないようですが、
失敗したことなどありますか。

飛永：ネタに関しては特にはないですね。でも音楽イベントのMCをした時は、苦手意識を感じました(笑)。

大水：お笑いの人には、音楽イベント特有のノリがないですからね。

飛永：その時は緊張しちゃって、原稿の文字が絵に見えてきたんです。だからすごく噛みし、間違えてしまいました。だから苦手の仕事は、正直に断ったりするよね？

大水：やっぱり自分たちのベストな表現を見

第62回広島大学大学祭のメインゲスト

ラバーガール

左：飛永翼(ツッコミ) 1983年静岡県生まれ、
右：大水洋介(ボケ) 1982年青森県生まれ
2001年にコンビ結成(スクールJCA10期)。プロダクション人力舎所属。「キングオブコント2010」第5位、NHK「爆笑オンエアバトル」、「オンパレード」など数々のチャンピオン大会に進出する実力派コンビ。テレビ朝日「アメトーーク!」、日本テレビ「エンタの神様」などバラエティ番組多数出演のほか、舞台「男子はだまってるなさいよ!」9聖バカコンド、「ほっかほっか亭」CM出演(大水のみ)と幅広い活躍を見せる。ネタは主にコントで淡々とした芸風が特徴。

せたいですからね。

飛永：お笑い芸人がMCをやる時は、つつがない進行に面白いことを付け加えないといけない。オリジナリティーを出そうとか考えていると、進行の方が駄目になったりするから、僕らにはMCは向いてないですね。ネタは自分の言葉を口にするだけだから楽なんだけど、僕は読書をしないから何かを読むのが苦手で……文字が絵に見えてきちゃうんだよね(笑)。

大水：それちょっとよく分からないんだけど(笑)。僕はネタ中に噛んでしまったら、噛んでいない空気を出す。動揺しちゃうとどんどんボロボロになるので、失敗した感を出さずに堂々としていると、意外とスムーズにいきます。

読書をして、堂々とするですね(笑)。
お笑い芸人になってから、人とのつながりなどに意識の変化はありましたか。

飛永：やっぱりコミュニケーションは大事だと思いますよ。芸人には面白い人がたくさんいるけど、スタッフさんや先輩芸人に名前を挙げてもらわないと、仕事にも呼ばれない。



大水：もともと二人とも人見知りなんですけど、良い仕事をするためにも、先輩の誘いにはなるべく乗るようにしています。

飛永：でも僕もそう思い始めたのは最近ですね。飲み会が苦手なので極力行かないようにしていたんだけど、そうするとやっぱり僕の名前を出してもらえない。お世話になっているある映画監督さんは、脚本を書く時に、この役をあのの人にやってもらおうと思いながら書くこともあるそうです。それを聞いて、飲み会にも行くようになりました。

大水：でも一方で、自分一人の力で、自分の良さを伝えられるのはすごく魅力的ですね。
飛永：お笑い芸人なので「いつも一人で行動しているな」って思われるのも、それはそれで面白いんですけど、それを突き詰めないといけない。天才だったらそれが成立するんですけど……。

大水：なかなかこれができないから、みんなと仲良くやっていこうとしています(笑)。



飛永：先輩に言われました。「3年続けて売れなかったら天才じゃないから、考えて努力するしかない」と。だからいかに人とつながるかっていうのは大きいですね。

大水：お笑い芸人は、テレビで適当にやっているように見えても、実はすごく理論的に考えている人が多い。先輩には考えないと駄目だと言われます。

飛永：テレビに出ている人はみんな、全体のコミュニケーションの中で、自分の役割を分かっています。いかに話の中に自分が入れるかが大事で、面白いことを言うってだけで売れる人はいないですね。

天才じゃなければ考えて努力ですね。
下積み時代に苦労したエピソードなどあれば教えてください。

飛永：大水君は、上京した時から、親と一緒に住んでいるよね。

大水：暇だからバイトしていたけど、家賃とかが掛からないし物欲もないから、どんどん貯金が増えていって……。だからあんまり苦労したことはないですね(笑)。

飛永：僕は普通に一人暮らしでバイトをしていたけど、困った時は大水君に助けても

らっていたので、僕もあまり苦労はしなかったです(笑)。僕は貯金ができない性格なので、大水君みたいに堅実に生きていけば良かったなと思います。

大水：僕は、単独ライブの稽古などで、仕事が減り、収入が減る時期をちゃんと考えて、あまりお金を使わないようにします。やっぱり借金はしたくないからね。

飛永：普通の人だね(笑)。今は徐々に住む場所とか生活水準を上げていっているけど、若い頃は風呂なしでネズミが出るアパートに住んでいました。

大水：ネタ作りをしに泊まりに行った時に、朝起きたらネズミが僕のカバンに穴を開けていて、中のお菓子を食べられたことがありました。あれは嫌だったなあ(笑)。

今後、お笑いで世の中にどんなことを届けたいですか。

飛永：お笑いももちろんだけど、役者とかいろんなことをやってみたいです。

大水：最初に芸人を目指した時にやりたかったのはコントだから、コントをもっと認められたい。面白いと思われたいです。

飛永：大御所と言われる先輩には、今もホールでライブをやる方がいるので、おじさんになってもコントを続けていきたいです。

最後に広大生に一言お願いします！

飛永：今日ライブをやってみて、僕らとのコミュニケーションがすごくよくできていたなと感じました。頭が良いから勘も良いんだなと思います。これからも良いところを伸ばしていってほしいですね。

大水：僕はお酒が好きなので、もし将来居酒屋で僕を見かけたら、「あの時HU-style読みました」って言ってください。おごります！



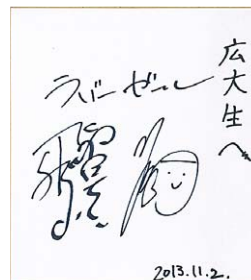
私たちの質問に真剣に答えてくださり、お二人が普段から人とのつながりを大切にしているのが伝わってきました。
取材・記事/総合科学部2年 藤本 迪子



短いインタビュー時間でしたが、お二人の人と人とのつながりを大切にする姿勢が印象的でした。
取材/法学部3年 石川 裕佳



時折笑わせてもらいながらも、真面目な話も聞け、とても楽しい時間でした。今後も応援していきます！
取材/経済学部2年 安部 大地



祭でガンバる、な人!!

第62回 大学祭

11月2日(土)・3日(祝)の2日間、東広島キャンパスで開催。
 広大生をはじめたくさんの人のガンバリで盛り上がりました。
 その様子をHU-style学生スタッフが総力を挙げて
 徹底取材しました!



ほんの一部ですが、
 できるだけ紹介します!



つなげる人

OPERATIONつながり

学生ボランティア団体「OPERATIONつながり」は、震災部・海外部・地域部の3つのグループで活動しています。大学祭では、東北やベトナムなどの雑貨販売や、学生が撮ったボランティアの写真展示、さらには写真立て作りやプレスレット作りの体験コーナーもあり、幅広い層のお客さんが足を運んでいました。



観せる人

Cinema café

東広島映画祭実行委員会の皆さんは、アマチュア映画を上映していました。全国の映画研究会やアマチュアの皆さんに呼び掛け、フィルムを送ってもらい、来場者の方の投票で、グランプリ作品を決めました。



支える人

STUDY FOR TWO 広島大学支部

使わなくなった教科書を回収し、半額で販売することで、教育を受けたくても受けられない子どもたちの支援を行っています。大学祭では、回収した中古本やオリジナルのステッカーを販売し、多くの人が支援に協力しました。



グルメな人

探検部

毎年恒例のカエルの唐揚げを販売。鶏肉のような食感です。



中国人留学生学友会

皆さんの作る水餃子は本場の味!



FUYUKISS

経済学部の学生有志の皆さんで、タピオカドリンクを販売していました。



ぱんちまっとぐるぐる

大学祭実行委員OB・OGで、オムランクを販売していました。



Syrian Group

シリア出身の学生を中心としたグループの作る本場のケバブ。両日ともに大人気!



からくわ丸

気仙沼でボランティアをした学生たちが作る、気仙沼名物のふかひれスープはやさしい味でした。



合気道部

合気道部の皆さんは、あつたかい焼き芋を販売。



おばけやしき

総合科学部有志の皆さんは、綿菓子の販売。それぞれのキャラになりきったコスプレが、一際目を引きました。



魅せる人

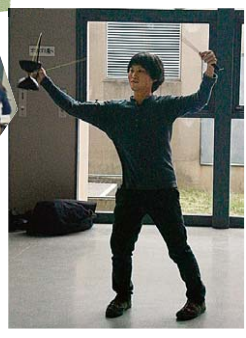
体育会古武道部

ただけしい掛け声とともに繰り出される技の数々。日々、克己心を養っている古武道部の力強い演武を見せ付けてくれました。未経験者、女性部員もウェルカムとのこと。



大道芸サークル遊技団

ジャグリングやシザーボックスで、初日を盛り上げてくれた大道芸サークルは、地域のイベントにも参加して、幅広く活動しているそうです。



ダンスサークル「リズムック」

ジャンルごとにチームに分かれて披露！大学祭のトリを飾るステージに、スペイン広場は超満員！

大学祭の
フィナーレは花火!!

ステージ企画

バンド演奏



楽しませる人

コケ玉を作ろう(理学部・理学研究科)

土団子に観葉植物を植え、コケを貼り付けます。コケ植物には根もなく、肥料も必要ないとか。国内唯一のコケ植物専門の研究室ならではの企画で、みなさんオリジナルのコケ玉作りを楽しんでいました。



楽しいネ!

珍しい
生き物があるネ!

ふれあいビオトープ(技術センター)

「かんさつコーナー」では、子どもたちが生き物を興味津々に眺めていました。その隣にはさまざまな珍しい海の魚たちをすくう「珍魚すくい」があり、HU-style 学生スタッフも見事タツノオトシゴを捕まえました! ビオトープでは、繁殖している外来生物のアメリカザリガニ捕りに、子どもたちが奮闘していました。



東広島キャンパスの中心を流れる門脇川周辺で、湿地帯に生息する生物を観察する企画が行われました。

つくる人

手芸部

手芸部では部員手作りの雑貨を販売。可愛い雑貨は女性に大人気でした。



書道部

臨書体験や作品展示を行っていた書道部。和やかな雰囲気の中で書に臨む様子が印象的でした。



写真部

「服屋さんのようなお洒落な写真展」をテーマに、展示を行っていました。



アクリル水彩同好会

毎年行っている展示会。今年のテーマは、「和歌・俳句」。部員が自分たちなりに解釈した作品、約40作品が展示されました。ポストカードの販売も行い、2日間で1,000人が来場したそうです。



文芸サークル「すくいいべんてえす」

部誌の販売だけでなく、来場者が参加できる企画も!



美術部

油絵からコラージュまで、表現方法にも個性を感じる展示でした。今後は、山口県で開かれる「音美※」展覧会を目指して、皆でワイワイ製作していくそうです。

※音美: 中・四国国立大学音楽美術連合



家具展2013~モノづくり/ヒトづくり~(工学部)

スタンダードな机や棚から、工夫を凝らしたユニークなものまで、暖かみのあるハンドメイドの家具がたくさん展示されていました。





今年のEストのキャラクターを階段アートで表現!

第14 教育学部祭 E-Storm

回 (通称: Eスト)

E-Stormは、大学祭の日に教育学部周辺で行われる教育学部の祭りです。大学祭のメイン会場に比べ、子どもを対象とした企画・出店が多くあります。



喜ばせる人



ステージではスタッフ考えたエアロビでお客様や子どもと一緒に大盛り上がり



英語文化系コース

英語かるたの企画。学生たちは子どもたちの上手な発音にびっくりしたそうです。



ヒーローショーの後には写真撮影会!



フォトモザイクアート

来場者の写真を組み合わせて、大きな絵が完成!



造形芸術系コース

作品の展示とボンボン作り体験。学生たちの力作は必見。



技術・情報系コース

ピタゴラ装置は全て手作りで、制作に約1カ月かかったそうです。ボールでポケモンをゲットしようと、子どもたちも夢中!



巨大紙芝居は、子どもたちにも大人気!



自然系コース

オリジナルブーメランを作ったよ!!

巨大迷路は、子どもの身長に合わせた設計です。2部屋に渡る迷路は意外と難しかったです。



スタッフ企画の巨大迷路

農場祭 生物生産学部

大学祭2日目には、附属農場を中心に農場祭が行われています。農場ならではの体験型イベントにチャレンジしました!



触れ合う人

さまざまな体験ができるんです!



バター作り体験

バターを作るには、とにかく振る! 生乳の入ったペットボトルをひたすら振ること15分。腕が疲れましたが、だんだん固まりができてきました。

クラッカーに乗せて食べた自作バターは格別!



搾乳体験

たくさん子どもたちが一生懸命背を伸ばして、乳を搾っていました。

農場で飼育している乳牛の乳搾りを体験できます。直接触れる牛の体は、思ったより温かったです。牛乳は市販用に出荷しているそうです。※対象は高校生まで。今回は特別に体験させてもらいました。



農場ツアー

農場をぐるりと一周できる農場ツアーも開催。ガイドの学生からクイズが出題され、牛や施設の説明を楽しみながら聞くことができました。



たまごスープ
農場の鶏が産んだ新鮮な卵を使っています。

温かくて、おいしいスープ!

農場祭のイベントには、毎年来ている親子などいても、たくさん子どもたちが楽しんでいました。大人も子どももさまざまな体験ができる農場祭には、来年も行きたいです。



可愛いヒツジさんの完成!

羊の毛でヒツジを作る!

係の学生が丁寧に作り方を教えてくださいました。5分ほどでだんだんヒツジの形に。意外と羊の毛は硬かったです。

第46 霞祭 霞キャンパス



霞祭実行委員スタッフ

医学系の学部・研究科がある霞キャンパスでも、学生たちが企画・運営する祭りが開催されています。今年も11月9日(土)・10日(日)の2日間、多くの人が霞キャンパスを訪れました。

企てる人



屋外では、学生による模擬店やフリーマーケットの他、合気道演武などさまざまな企画がありました。体育館では、仮装コンテストやアカペラなどのステージもありました。



HU=DIC (歯学部国際交流クラブ)のみなさん



中川家さん、三浦マイルドさん、ボールボーイさんという豪華な顔ぶれのお笑いライブもありました。



霞キャンパスならではの企画も盛りだくさん!

理学療法学の学生による身体機能チェック

情報医工学展

第7回 ホームカミングデー

ホームカミングデーは、卒業生や教職員のOB・OGに、「1年に1度母校に帰ってきてね」という日で、東広島キャンパス・霞キャンパスともに、大学祭・霞祭の1日目に開催されています。卒業生たちに限らず、在学生や市民の方にも楽しんでもらえる企画がたくさんあります。



在学生と卒業生との懇親会の様子

ホームカミングデー会場の様子



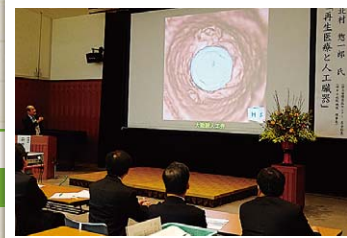
東広島キャンパス
メイン会場

◀ サタケメモリアルホールでの学術講演や、写真による広島大学の歴史紹介が行われました。
学術講演：山内昌之氏（東京大学名誉教授）
「歴史に学ぶ志」

霞祭に合わせて、ホームカミングデーのイベントも開催されました。

講演会：北村惣一郎氏
（国立循環器病センター名誉総長）
「再生医療と人工臓器」

霞キャンパス
メイン会場



広島と連携している県内の企業や団体による物産展は、本場のグルメなどで大盛況でした。



「広大生も出店！」

東北うまいもん屋

学生団体「東北うまいもん屋」は、東北の郷土料理の芋煮を販売。実際に宮城で「芋煮会」に参加して、作り方を教わったとのこと。店頭では募金活動も行い、売り上げの一部も寄付されるそうです。



上田宗箇流茶道部による茶会

ほとんどの部員が大学から茶道を始めたという同部ですが、慣れた様子で1年間の稽古の成果を披露していました。来場者の方々もおいしそうにお茶を飲んでいました。



もてなす人

ホームカミングデー (HCD) 学生チームによる企画

HCDしゃべり場

卒業生や広大に興味のある、中・高校生などがざくばらんにおしゃべりする「広大版しゃべり場」にもぎわっていました。今年は綿菓子の販売もあり、子どもたちに大人気でした。



HCDお好み焼き

お好み焼き販売のコーナーでは、本格的な広島風お好み焼きが、来場客の目を引きました。学生チームは、この日のためにオタフクソースの研修を受け、お好み焼きの腕を磨いたそうです。



サークル体験

広大生のサークル活動を体験してもらおう!という企画もありました。



けん玉サークル「DAMA けん」の皆さん

マジックサークル「Jack-o'-Lantern」は華麗なマジックを披露!



アカペラサークル「Plaza de España」によるライブ

会場外では、ステージ企画などもありました。

学部・研究科企画から一部をご紹介します!

文学部・文学研究科

語学カフェ

広大の留学生が自国の言葉・生活・文化を紹介することで、学生や地域の方々に文化を身近に感じてもらう企画が開かれました。お茶や留学生出身国のお菓子もありました。



◀ カタリンさん（ハンガリー出身）
日本人学生は夜遅くまで大学に残っていますね。ハンガリーでは17時頃に授業が終わったら、学生たちはすぐに家に帰ります。

Hugo santio de godoyさん（ブラジル出身）
日本は四季がはっきりしていますね。ブラジルでは夏と秋でもほとんど変わりません。

◀ 劉さん（中国出身）
留学先で寂しくなったら、大学に行って友達とわいわいします。そうしたら寂しさも忘れそうです!

教育学部・教育学研究科

演奏会・オペラハイライト

オペラの上演を行いました。オペラの衣装、小道具は全て手作り。メイクやヘアセットなども自分たちで行いました。



こんな祭も!!

ゆかたまつり



毎年6月下旬～7月上旬に東広島キャンパスで開催!

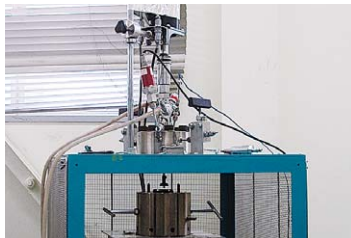
何といても特徴は「ゆかた」。浴衣を着ている来場者への特典や着付けもあり、浴衣を着た人でいっぱいになります。大学祭実行委員会のメンバーは、この祭りの運営を経験し、秋の大学祭に向け一層団結します!

研究も子育ても バランスが重要！

工学研究院

神名 麻智 助教 Machi Kanna

東京工業大学大学院生命理工学研究科博士課程修了。
木材を使ったバイオ燃料に関する研究を行う。
博士（理学）



バッチ式リアクター
木質バイオマスからエタノールを生産するための水熱前
処理を行う装置。



ユーカリ粉砕物
水熱前処理をする前のもの。木片を粉々にしてバッチ式
のオートクレープリアクターにかけます。



どんな研究を行っていますか？

化石燃料から再生可能エネルギーへの
転換が言われて久しいですが、その一つで
あるバイオマスの研究をしています。

バイオマスは、残飯や糞尿から得られると
知っている人も多いのですが、紙や木材から
も作られます。しかし、間伐材や木材を切り
出す際に落とした枝などは、バイオマスにほ
とんど利用されていません。木質系バイオマ
スは、主に前処理・糖化・発酵というステッ
プを通り、燃料となるエタノールを生産しま
す。本研究室で使用している水熱前処理は、
酸などの処理と比べて廃液などの心配がいり
ませんが、処理中に発酵阻害物質が生成す
ることが知られています。発酵阻害物質は、

文字通り酵母の発酵を阻害します。水熱前
処理による発酵阻害物質の生成の解析を行
いつつ、発酵を行う酵母に発酵阻害物質へ
の耐性を持たせるという研究を行っています。

面白さや大変さはどんなところに？

バイオマスの研究は非常に幅広く、酵母
のような生物学的な研究をしている人がい
れば、コストや経済性を研究している人もい
ます。幅広い分野の研究者が学会で意見を
交わすことができ、大変有意義な時間をす
ごすことができます。

研究以外で興味のあることは？

現在は子育てのせいか特にありません。子
育てをしているとどうしても時間の制約がで

てきてしまいます。作業を続けたい気持ちを
抑えて帰ることもあります。その時々で自
分なりに最良の選択を取るようにしています。
周りのサポートや理解のおかげで、大学での
研究や仕事と子育てを両立させています。

広大生にメッセージをお願いします。

研究は決して楽ではなく、大変なものです。
皆さんも同じように大変な経験することが
あるかもしれませんが、たとえ落ち込んでもい
つかは前を向ってください。時には「もう無
理」とくじけそうなることもあるでしょう。でも後
で振り返ると、いい思い出になっていることも
あります。そのためには前を向かないといけま
せん！大学生活だけでなく、社会に出てから
もそういう気持ちを大切にしてください。



研究以外の興味について、悩んだ末に子育て
と答えられたのが印象的でした。研究とお子
さまへの愛を感じました。

取材・記事/教育学部3年 野田 順平

幅広い視野で 何事にも チャレンジ!

今津大紀 Hiroki Imazu
広島大学文学研究科運営支援グループ
(2011年3月 教育学部卒業)

現在の仕事を選んだ理由を教えてください。

学生時代に本誌『HU-style』のスタッフをしていたため、広島大学の職員と関わる機会が多く、その活動の中で出会った職員の方の人柄に引かれたことが、この仕事を目指すきっかけとなりました。また、母校である広島大学のためであれば、大変な仕事もがんばり続けることができるのではないかという思いもありました。

広島大学は、研修制度が優れており、文部科学省や他機関へ出向できたり、国内外での研修会に参加できたりと、スキルアップの機会が豊富なことも魅力でした。



どのような仕事をされていますか?

現在、研究科全体の予算などを扱う財務を担当しています。学生の方よりは、教員の方と関わる機会が多い仕事です。「前任者のやっていたことは、できて当たり前」なので、プレッシャーはありますが、教員の方と信頼関係を築き、直接私に相談を持ち掛けていただいたときや、新たに仕事を任せてもらえたときにやりがいを感じています。

仕事の際には、相手の立場に立ち、言葉をより分かりやすく伝えることを大切にしています。「伝え方」を少し工夫するだけでも、コミュニケーションが円滑になり、仕事がより良いものになると思います。

広大生へメッセージを!

私自身、学生時代に視野を広く持って、その時興味を持っていなかった事柄に関しても見聞きしておけばよかったと後悔しています。学業やバイト、サークルなどで忙しい毎日だと思いますが、周囲にあるさまざまな機会に目を向けてみることで、より充実した学生生活を送ることができるのではないのでしょうか。



今津さんの周囲に気を配る姿勢が印象的でした。HU-styleスタッフ時代の経験もお話いただき、とても勉強になりました。
取材・記事/法学部3年 石川 裕佳

お
仕
事
拜
見
!

OB & OG 紹介

社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身にかけておくべきことはまたプライベートの話まで、私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

取材を
終えて

自分への評価は 自分だけの ものじゃない。

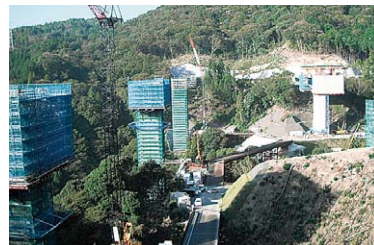
永山陽子 Yoko Nagayama
西日本高速道路株式会社 (NEXCO 西日本)
関西支社 新名神大阪東事務所 技術課
(2010年3月 工学部卒業)



どんな仕事をされていますか?

高速道路の建設・管理に関する事業に携わっています。以前いた部署は、老朽化した建造物などの補修工事が適切に行われているのかを監督する立場でした。

現在は、新名神高速道路建設のための事前調査を行っています。路線開通が周囲の環境に与える影響を予想し、検証します。例えば、橋脚を建てるとそこに生息する植物の生態系も崩しかねません。貴重な自然を守るのも私たちの仕事の一環です。



道路建設というと、現場の作業の方が多いのですか?

発注や報告書の作成などの仕事もあるので、難しい質問ですね。でも現場を見ないことには、何が問題かも分からないので、気持ち的には現場が9割、ですね(笑)。

職場の先輩はどんな方たちですか?

仕事に厳しく、怒られたこともあります。理不尽な理由ではなく、常に成長の機会を与えてくれます。どんなに忙しくても、書類の細かい部分まで徹底的にチェックして指導してくれます。前の部署の先輩方に久しぶりに会った時に、「成長したね」と褒められると、本当にうれしく、やりがいを感じます。

広大生へのメッセージ

「あなたへの評価は、あなたを指導した上司や先輩への評価にもつながる」と言われたことがあります。広大生の皆さんには、「自分の力でここまで来たのではなく、多くの人に支えられている」ということを理解して、社会に出てからも大切にしてほしいと思います。

建設業というと、「女性に厳しいのでは……」と足踏みしてしまう女子学生がいるかもしれませんが、「女性だから」と自分で壁をつくらないでください。今の職場では、男女の関係なく活躍しています。もし体力面で違いがあったとしても、努力や自分の強みでカバーします。「性別」ではなく、「自分」だからこそできることがあると思います。プラス思考でいきましょう!



学生時代はダンスサークルに所属していた永山さん。はつらつとした印象がひしひしと伝わってきました。
経済学部2年 安部 大地



食文化が距離を縮める

アルムーサ・マージド
Almosa Majed

社会科学部研究科研究生 (サウジアラビア出身)

国費留学生として2007年に来日し、広島に来て5年目を迎える。地域や大学で、サウジアラビアと日本の文化交流活動を行う傍ら、研究生として、大学院入試に向けて準備を進めている。



Made in Japan のふるさとへ

私は、良い品質の製品をつくるのは良い社会だと考えています。サウジアラビアでは、日本のものは良い製品として知られており、それを生み出す国を知りたいと思い、日本へ留学しました。サウジアラビアでは、好きな宮島で。英語圏への留学が多く、その他の言語圏へ行く人が少ないため、他の人が行かない所に行ってみたかったのも理由の一つです。



食文化が一番

サウジアラビアには、まだ日本に侍がいると思っている人がいます。また日本人にも、サウジアラビアのことをよく知らない人が多く、物理的にも心理的にも、互いの距離がまだ遠いと感じます。私は広大に来てから、アラビアの文化を紹介するサークルで、多くの人と交流してきました。他の留学生や日本人の学生を招き、アラビアの伝統的な衣装を着てもらい、家庭料理を振る舞うこともあります。文化を紹介するには、食べ物から入るのが一番と考えており、ゆかたまつりや大学祭では、カブサという肉料理のお店を出しています。スパイスなどは、現地から輸入しているんですよ。



小学校なども訪問します。最初は緊張しますが、子どもたちと仲良くなると、もう帰りたくなります。

日本に関わる仕事を

今は経済について研究しています。将来はサウジアラビアで、日本に関わる仕事がしたいですね。以前サウジアラビアの大使が広島を訪問した際、同行させてもらい、お好み焼きのソースを作る会社の方にお会いしました。ソースに使われているデーツという果実は、実はサウジアラビアで盛んに育てられていて、お酢にも使われています。お好み焼きのソースに最適なデーツを作るのも面白いかもしれませんね。



広島県でたった一人のサウジアラビア人として、8月6日の平和式典には毎年アラビア民族衣装を着て出席します。



「その国の食べ物を紹介することが文化を理解してもらう一番の方法」というアルムーサさんの言葉が印象的でした。自分も、まだ知らない文化をもっと知りたいと思いました。取材・記事/理学部1年 甲斐 寛之



今からでも遅くない

岡田 佳那子 Kanako Okada
理学研究科D1



現在大学院で植物の信号伝達について研究している。研究で多忙な博士課程においても、英語を肌で感じたい、と夏期休暇に実施されるEnglish+ALOHAプログラムへの参加を決意。帰国後も、論文や国際会議に備え、英語の学習を続けている。

生きた英語を学びたい

修士課程の時にマレーシアへ植物実習に行きました。そのとき1週間ほど滞在したのですが、コミュニケーションツールとして英語が重要であることを身をもって感じました。その後の研究や社会生活を考えても、メールのやり取り、論文の執筆や国際会議などさまざまな場面で英語が必要であり、英語を使えて当たり前になってきていると感じていました。そういう意味でも、生きた英語を学びたいと思い、プログラムへの参加を決意しました。



英語でのプレゼンテーション

ハワイ大学での3週間のプログラムは、教室での英語の授業や体験など、バラエティーに富む内容でした。特に思い出に残っているのが、英語でのプレゼンテーションです。おのの好きな題材を取り上げて準備を行い、プログラムの最後に発表しました。私は、ハワイの自然と植物に興味があったので、それを題材としてプレゼンテーションを行いました。日本では、なかなかこのような機会はないので、貴重な体験です。今後研究で海外に行くこともあるので、この経験を生かしたいと思います。



プログラムの卒業式に先生とクラスの人々と。



馬で巡るハワイ。英語での乗馬ツアーに参加。



現地のスーパーマーケット。アメリカのスタイルに最初は戸惑いました。

海外進出に“遅い”はない

言語は意識して使い続けないと、単語や言い回しを忘れてしまいます。日本でも、いろんな機会を利用して、積極的に使っていきたいです。海外に行くことを迷っている人は、おっくうにならずにぜひ行ってみてください。博士課程にいる私でもできたのですから、海外進出に遅いことなんてないのです。



研究や実験で忙しい博士課程においても、留学を決意し実行に移す、その決断力と行動力に心を動かされました。今後は、迷ったらチャレンジしようと思います。取材・記事/経済学部3年 多田 明日美

学生取材班が行く

はやりのネタや時事問題、ちょっと気になる先生など、あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。

聞きに行くぞ〜

編集長！特ダネ持って帰ります。

祭をつくる人 座談会

11月初旬、広島大学を挙げてのにぎやかな祭りが開催されました。その祭りを裏で支えていた広大生たちは、どのような思いで取り組んできたのか。日夜準備をしてきた大学祭実行委員会、教育学部祭E-Storm実行委員会、ホームカミングデー学生チームの代表の方々に、後日お話を伺いました。



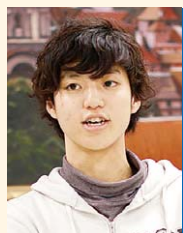
大学祭実行委員会スタッフ



ホームカミングデー学生チームスタッフ



教育学部祭E-Storm実行委員会スタッフ



大学祭実行委員長
近 藤 卓 馬さん
(経済学部2年)



教育学部祭E-Storm
実行委員長
藤 居 克 幸さん
(教育学部3年)



ホームカミングデー
学生チームリーダー
吉 田 加 奈さん
(総合科学部2年)

聞き手
HU-style
学生スタッフ



HU-style 学生スタッフ (以下HU) : 長い間、準備などでお疲れさまでした。早速ですが皆さんは、どのような経緯で各団体の代表になったのでしょうか？



近藤卓馬さん (以下近藤) : 祭りが好きで、人を楽しませる側の中心で楽しみたいと思っていました。自分たちの代の中から立候補していた実行委員同士で話し合い委員長を決めました。今振り返ると、この役割だったからこそ得られるものがたくさんありました。

藤居克幸さん (以下藤居) : E-Stormは、祭り後に一つ上の代の先輩が翌年の委員長を指名するのですが、昨年それで指名されて「あー、なるんや」と(笑)。気合が入りましたね。

吉田加奈さん (以下吉田) : 私を上代の先輩たちに指名されました(笑)。ホームカミングデーでの学生チーム企画は、始まってまだ歴史も浅いので、これからもっといいものにできる、もっといいものにしようと張り切りましたね。

祭りができるまで

HU : 準備の過程で、自分たちの役割で大変だったことを教えてください。

吉田 : 準備のスケジュール調整が大変でした。リーダーといっても、スタッフが各部に分かれて作業しているところの全体調整をする感じで、サポート的役割が多い(他2人うなずく)。緑の下の方持

ちという感じですね。

近藤 : 大学祭実行委員会は、大学祭を運営する団体でありながら、サークルという面を持っているので、活動のバランスを取るのが大変でした。「お客さんに楽しんでもらい、実行委員のメンバーも楽しむ」を実現するために、長い準備期間のメリハリをどう付けるかに迷いました。

藤居 : E-Stormは、他の学部になような、学部全体で取り組むイベントなので、学部内の交流という意味でも重要な機会になっています。規模が大きいため、温度差や目的の違いも生じ、大人数の足並みを調整するのは大変でしたが、ハプニングをみんなで対処していくと、いつの間にかみんなが同じものを目指すようになっていました。

楽しませることを楽しもう

HU : 祭りを企画するに当たり、心掛けたことはありましたか？

吉田 : ホームカミングデーの企画を練る時は、久々にキャンパスへ帰ってきた卒業生の方に、今の広大生を知ってもらうことを心掛けました。ステージ企画のほか、今年からサークル体験ブースを設け、書道体験やマジックショーなども楽しんでもらいました。

藤居 : 「来てくれる人を楽しませることをスタッフが楽しもうということ、スタッフで団結することでした。フォトモザイクアートなど、新しい試みにもトライしました。

近藤 : 僕たちも「来た人や参加する学生に楽しんでもらって、自分たちも楽しむ」ことを心掛けました。学生などが出す模擬店はとても人気で、募集以上の申し込みがあります。日付で分けて募集をするなど、より多くの人に参加して楽しんでもらた

めに、さまざまな工夫をしました。

HU : 苦労がある一方で、達成できたことも、喜びも大きかったということですね。次の代のスタッフへ託したいことはありますか？

藤居 : 新しいことに挑戦してもらいたいですね。E-Stormは子ども向けの企画が多く、毎年多くの家族連れに来ていただいています。「また今年もか……」とならないように、毎年1つ2つは新しいことに挑戦してほしいと思います。

近藤 : 具体的に「こうしておけば」という実務的な要望はたくさんあるんですが(笑)、後悔なく終わってほしいのが一番です。自分たちの軸をしっかり持って、動いてほしいと思います。

吉田 : どうしたら来た人を楽しんでもらえるんだろう、ということを考えて、活動してほしいです。またスタッフ自身も楽しんで、新しく加わるメンバーにその楽しさを伝えてほしいと思います。



最後に、まだ大学祭・教育学部祭・ホームカミングデーに行ったことのない広大生や読者の方へ一言お願いします。

3人 : 「来れば分かるさ!」です。まずは来てから、考えてください(笑)。

HU : 来年も楽しみにしています! ありがとうございます。



「お客さんが楽しんでいる時が一番楽しい」という考えが、それぞれのお話の中からあふれてきて、大きな祭りをその思いで動かしているところが印象的でした。自分も何かに一生懸命打ち込んでみたいと思うひとときでした。
取材・記事/理学部1年 甲斐 寛之

取材/経済学部2年 安部 大地
社会科学部研究科 劉 滢華



広島大学まちづくりサークル みんなの街をデザインする

「まちづくり」と聞いて、皆さんは何を考えますか? 私たちは、広島生おなじみの下見学生街の活性化を目的に、昨年3月より活動をスタートしました。普段の生活で感じる「もっとこんな街になったらいいなあ……」という思いを、学生と地域が一緒になって実現していこう!というのがこのサークルの目的です。

昨年は、「まちづくりワークショップ」や「夜ゼミ」といった活動を通して、下見学生街のまちづくりのアイデアを深め合いました。

夏休みや大学祭では竹ドームを自分たちで設計・制作し、地域の不動産会社の方と連携しながら、下見学生街でイベントを開催しました。このほか東広島・呉地域でも、近畿大学や広島国際大学の学生と一緒に、まちづくり活動を進めています。皆さんも、大学から一歩外に踏み出して、地域のまちづくりに参加してみませんか?

活動は月に3~4回程度行っています。大学内にとどまらず、下見学生街すべてが活動の場

です! 今年春にも、まちづくりワークショップの開催を計画中です。まちづくりに興味がある方の参加をお待ちしています。

今後も、地域や学生とのつな



竹ドームを制作し学生街などで展示

記事 / 広島大学まちづくりサークル・工学部4年 内田 和音

連絡先 ▶ hu.machidukuri@gmail.com

Facebook ▶ <https://www.facebook.com/hu.machidukuri>

がりの輪を広げていきます。facebookなどに、今までの活動や今後の予定を掲載していますので、ご覧ください。みんなでこの街を盛り上げましょう!



ワークショップ作業風景

広島大学東雲混声合唱団パストラル 伝統の歌声を受け継ぐ

こんにちは!「広島大学東雲混声合唱団パストラル」です! 毎週水・木・土曜日に、体育・芸術系サークル棟の音楽練習室4などで練習しています。

特徴は、学生が運営していることです! 2010年に創立50周年を迎えた歴史ある合唱団ですが、常に若々しく、活気に満ちています。自分たちの手で、自分たちのサークルの全てを創り上げていく……。そこではきっと、高校までの部活動にはない、大学生のサークルだから得られる醍

醐味や面白さが待っています。

活動は、夏に小学校を訪問し、歌や劇やダンスを届けに行く演奏旅行、1年間の集大成を披露する冬のパストラルコンサートを主な柱としています。今年のパストラルコンサートは、第50回の記念演奏会で、1月25日にサタケメモリアルホールで行います。ぜひいらしてください。その他、フェニックスコンサート、酒まつり、下見文化祭、いろいろな合唱団が参加するジョイントコンサートにも参加していま

す。演奏会に向けて、練習、指揮、ピアノ、台本など、全て自分たちで考えます!

団員は、合唱経験のある人、大学から始めた人などさまざまです! 少しでも興味がある方は一度足を運んでください。



演奏旅行で、小学生に向けて、歌を付けた劇「シンデレラ」を披露。笑ってくれるかな、ドキドキ……。



第49回 パストラルコンサートの集合写真

記事 / 広島大学東雲混声合唱団パストラル・教育学部3年 小野 友梨香

連絡先 ▶ pastorale.25.dancho@gmail.com

HP ▶ <http://home.hiroshima-u.ac.jp/pasto/>

広島大学バスケットボールサークルAnkle Breaker ゆるく楽しく、時に全力で

東広島キャンパスを拠点に活動しているAnkle Breakerです! 「ゆるく楽しく、時に全力で」をモットーに、日々活動しています。練習は基本的に土日に行っており、不定期に平日日中にも体育館で練習しています。学部1年生から大学院2年生まで、学部も学年もバラバラですが、初心者から上級者まで、男女仲良く練習しています。

私たちは、東広島市の社会人リーグに所属しており、年に3回のリーグ戦に参加しています。夏

には、東広島のチームとの交流戦を楽しみました。3年の引退試合に当たる秋リーグでは、念願の1部優勝を果たし、東広島で1位に輝きました。

2泊3日の夏合宿をはじめ、海に行ったらBBQをしたり、川で水遊びをしたり、冬には鍋を囲ったり、定期的に飲み会を開いたり、練習以外のイベントにも力を入れています。また、2セメや5セメなど、途中から所属する人が多い

のもこのサークルの特徴です。バスケットをしたいけどタイミングを逃してしまった、新しくバスケットを始めたい、強いチームで試合がしたい。そんなニーズに応えられるのも、男女間・上下間のつ

ながりが深く、普段からゆるく楽しく、時に全力で活動を行っているからです。まだまだメンバーを募集していますので、ぜひ私たちと一緒に、楽しくバスケットしましょう!



東広島市の大会で1位に輝く



夏に行われた合宿での集合写真

記事 / 広島大学バスケットボールサークル・経済学部3年 多田 明日美

連絡先 ▶ b110201@hiroshima-u.ac.jp

学内の重要なお知らせから、
耳寄りなニュースまで。
広大生必読のインフォメーションです。

広島大学古本募金 「Book cycle〜ヒロガル＊ツナガル〜」に ご協力ください。

広島大学では、本学の在学生、同窓生、保護者の方、教職員や一般の方々から読み終わった書籍を寄附いただき、その買い取り金額を広島大学基金に寄附いただく新しい取り組みを始めました。

書籍以外にも、DVD、CD、ゲームソフトも寄附いただけます。広大生のみなさんもぜひご協力ください。

古本募金の仕組み

STEP1 梱包

書籍類を段ボール箱に詰め、申込書をご記入の上、本と一緒に入れてください。申込書は、ホームページよりダウンロードできます。中央図書館にも設置しています。
※5点以上から、宅配の費用は掛かりません。

STEP2 お電話

提携会社バリューブックス(0120-826-292)に電話し、「広島大学古本募金プロジェクトへの申し込み」と、お伝えください。
※宅配業者がご指定の場所に伺います。

STEP3 寄附

提携会社バリューブックスにより市場価格を考慮して査定され、買い取られます。その買い取り金額が、「広島大学基金」に寄附されます。

広島大学基金の主な支援事業

●フェニックス奨学金(平成24年度:26人)
学力が優秀でありながら、経済的理由により進学が困難な方を対象とした、本学独自の奨学金(給付型)。

●STARTプログラム(平成24年度:121人)
海外経験の少ない新入生を対象とした短期海外研修制度(約2週間)。

●大学院学生のための国際学会発表支援(平成24年度:22人)
海外で開催される国際学会において、外国語で発表する場合の渡航費支援。

詳しくは HP▶<http://www.hiroshima-u.ac.jp/kikin/furuhonbokin/>

問い合わせ先: 広島大学基金事務局
(財務・総務室 総務グループ内)

TEL: 082-424-6132 / 4331

E-mail: kikin@office.hiroshima-u.ac.jp

第7回ドリームチャレンジ賞が決定

広島大学校友会と広島大学同窓会が、第7回ドリームチャレンジ賞を決定し、23件(助成総額465万円)を採択しました。

この賞は、広島大学の学生の自主的かつ創意工夫に富んだ提案に対して、活動資金を助成するものです。

被授与者と活動テーマは以下のとおりです。

- 遠藤あゆみ(教育学部) 広島に住む外国人に日本語を学ぶ機会を提供するとともに日本語教師としての力を養う
- 黒澤明莉(理学部) 全日本学生馬術大会の入賞と国立大学ナンバーワンを目指して
- 大村香(歯学部) ダンスによる地域貢献と広島でのダンスシーンの活性化
- 山本麻央(教育学研究科)「科学の楽しさを伝える」きつぷ☆サイエンスクラブ広島
- 寺本芳瑛(総合科学部) 互理プロジェクト: 宮城県亘理郡亘理町、旧館仮設住宅への派遣隊(東日本大震災復興支援)
- 合木慎一郎(法学部) ホームカミングデーにおける学生チームによる活動
- 岩本優子(医歯薬学総合研究科) カンボジアのこどもたちの歯をまもる
- 高橋大海(国際協力研究科) 世界の貧困と教育の問題に学生がアクションを起こす〜インドと日本を繋ぐ新たな挑戦〜
- 中野恭裕(理学部) モンゴルにおいてけん玉の普及のため、けん玉の指導を通して楽しさを伝えていくとともに、けん玉活動、国際交流を通して自らの成長に繋げる
- 福岡奈織(総合科学部) 教科書を通して、ラオスと広島大学の両方の学生の成長の機会をつくる
- 橋本孝則(経済学部) 来年度の全日本学生ジムカーナ、ダートトライアル大会優勝と、モータースポーツの発展を目指す
- 二宮舞子(総合科学部) 書道パフォーマンスなどの課外活動による書道の普及活動
- 徳岡大(教育学研究科) RとMplusを使用した医療・心理データ解説勉強会
- 中村孝(教育学研究科) 日本初包括的ないじめ対応用学校ニーズ診断ツールの開発研究
- 山縣菜瑠実(総合科学部) 第38回ひろしまフラワーフェスティバル出演
- 中村孝(教育学研究科) 居場所とイベントづくりによる地域の子どもの「生活満足感」「いきがい」促進
- 榎木錬(医学部)「重ね合う 心の音」
- 石丸裕康(社会科学研究科) 公的データの活用による地震データの可視化と防災啓発(2)
- 松本渚(総合科学部) 西条を灯りのまちに〜キャンドルナイトの実践〜
- 中村孝(教育学研究科) 国際的視野と能力を備えた人材育成を目指した教育心理学的知見からの英語授業「世界発見」の効果検証
- 池野宗一郎(工学部) 全日本学生フォーミュラへの挑戦
- 池田拓(法務研究科) 広島に古くから息づく、武家茶道の継承・発展を、広島大学内で行います
- 浦上萌(教育学研究科) 大学院生と保育者が連携し、より質の高い保育実践を目指す



授与式の様子

ライティングセンターを活用してください。

11月から中央図書館1階で、ライティングセンターがスタートしました。文章指導の専門的な研修を受けた大学院生のチューターが、皆さんと文章を検討しながら、分かりやすい文章と一緒に作っていきます。

※本学の学生は無料で利用できます。

- ・レポートをどう書けばいいかわからない
 - ・テーマは決まっているけど、考えがまとまらない
 - ・書いた文章を見てもらいたい
- という方、ぜひライティングセンターにお越しください。

【時間】授業期の平日/10:30~16:00(月曜2コマ目は除く)

【予約】ライティングセンターウェブページからご予約ください(現地での予約も可)

HP: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc/>

問い合わせ先:

図書館 図書学術情報普及グループ

TEL: 082-424-5631

E-mail: toshio-fukyu-wrc@office.hiroshima-u.ac.jp

学内での就職関連のイベント情報

キャリアセンターでは、就職に関するイベントの他、個別相談なども行っていますので、積極的に活用してください。

主催: キャリアセンター
時期: 1月~2月
場所: 法学部・経済学部講義棟

1月は1日4社、2月は12社の企業が来学し、個別セミナーを行います。

●スケジュール等は以下からご覧になれます。

HP: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/kyaria/syusyoku/gaidancein/>

平成26年企業説明会(主に理系対象)

主催: 広島大学工学同窓会

協力: キャリアセンター・工学研究科

日時: 2月13日(木)・14日(金) 12:30~16:00

場所: 東体育館

合同企業説明会です。多くの企業を知ることができます。

●詳細についてはこちら

HP: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/eng/stsupport/path/>

共通問い合わせ先: 教育・国際室キャリアセンター
E-mail: career-group@office.hiroshima-u.ac.jp
HP: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/kyaria/>

陸上競技部男子が中国四国大会で優勝

9月23日(祝)に開かれた第45回全日本大学駅伝対校選手権大会中国四国地区予選会で、陸上競技部男子が優勝しました。同部は、11月3日(祝)に行われた第45回全日本大学駅伝対校選手権大会に、7大会連続11回目の出場を果たしました。

体育会トライアスロン部が活躍!!

9月に行われた全日本学生トライアスロン選手権で、小林歩さん(教育学研究科M2)が見事優勝しました。また、10月に行われた全日本学生スプリント選手権では、徳丸雄一さん(総合科学研究科M1)が6位入賞しました。

両部員は2月の学生デュアスロン選手権へ出場予定で、小林さんは3月の世界学生選手権の出場権を獲得しました。



メディアセンター本館セミナー室がオープンしました。

10月15日(火)、情報メディア教育研究センター本館2階セミナー室がリニューアルオープンしました。最大120人の講演会等に利用可能で、テレビ会議装置も整備されています。講演会等のため占有利用するには、予約が必要です。なお、予約されていない時間帯は、学生等が自学自習スペースとして利用でき、学生証・職員証で自由に入室可能です。持ち込みPC等のための電源とHINET Wi-Fiを整備しています。

予約・問い合わせ先:

情報メディア教育研究センター

HP: <http://www.media.hiroshima-u.ac.jp/helpdesk/>



全日本学生柔道体重別選手権大会準優勝!!

9月28日(土)・29日(日)に開催された同大会において、体育会柔道部重永聡美さん(教育学部3年)が準優勝という結果を収めました。



第1回広島大学フェニックスリレーマラソンを開催しました。

広島大学体育会は、10月27日(日)に第1回広島大学フェニックスリレーマラソンを開催しました。同大会は体育会創立50周年記念事業の1つで、東広島キャンパス内の特設コースを4時間でどれだけ周回できるかを競うものです。

記念すべき第1回目となった今回は、浅原学長のスタートの合図で、各チームの4歳から69歳までの第一走者124人が、一斉に走り出し、2~10人が交代しながらたすきをつなぎました。

閉会式では、一般や学生のチームに加え、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業、OB・OG、ファミリーなど、各分野の上位チームへの表彰が行われました。各参加者は思いのスピードで、秋空の下、リレーマラソンを楽しんでいました。またパフォーマンス賞も設けられ、アニメキャラクターなどの衣装で仮装したランナーたちも、会場を盛り上げていました。



第7回カンボジア歯科医療支援活動を実施します。

広島大学歯学部は、アジアの子どもの歯を守る会(NPO法人NGOひろしま)と協力し、教職員や大学院生、学部学生の有志からなるメンバーでカンボジアを訪問して、歯科医療支援活動を実施しています。カンボジアでは、歴史的な背景から歯科医師の数が少なく、経済格差も大きいので、多くの人々にとって歯科受診は困難です。

今年度は第7回目の渡航として、平成26年2月末から3月(日程調整中)にかけてシェムリアップ州市内および郊外の小学校等を訪れ、現地の政府・医療関係者と協力して、歯科検診、口腔衛生指導、簡単な歯科処置等の活動を実施する予定です。教員養成機関等への働きかけや、カンボジア国立健康科学大学学生との交流も計画しています。

平成26年1月中旬には、渡航希望者向けの説明会を実施予定です。歯学専攻でなくても、現地活動に参加できなくても、さまざまな形で活動に参加していただけます。ご興味をお持ちの方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先: 歯学部 国際歯科医学連携開発センター 国際活動企画運営部

担当: 岩本優子(医歯薬総合研究科D4)
yuko-tulip@hiroshima-u.ac.jp



PRローナー

第50回パストラルコンサート

広島大学東雲合唱団パストラルの1年間の集大成を披露する演奏会です。今年度は第50回の記念定期演奏会となります。入場無料となっておりますので、ぜひお気軽にお越しください。

日時: 1月25日(土) 17:30開場 18:00開演

問い合わせ: 小野友梨香(教育学部3年)

場所: サタケメモリアルホール

E-mail: pastorale.25.dancho@gmail.com

事前予約
不要
入場無料



第52回広島大学 大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修・教育学部 造形芸術系コース 修了・卒業制作展/論文発表会

この春に大学院前期修了および学部卒業となる造形芸術教育学講座の学生が、本制作展/論文発表会にて日頃の制作や研究の成果を発表します。広島大学で美術を学んできた学生のすてきな作品に出会えます。研究発表も行いますので、お問い合わせの上、ぜひお越しください!

【制作展】

学内展: 2月24日(月)~2月28日(金)
10:00~20:00(入場は19:30まで)

場所: 東広島キャンパス
大会館1階 大集会室

本展: 3月4日(火)~3月9日(日) 9:00~17:00(7日のみ19:30まで)

場所: 広島県立美術館 地下1階 県民ギャラリー

【論文発表会】

日時: 3月8日(土) 12:30 開会 場所: 広島県立美術館 地下1階 講堂

問い合わせ先: 教育学研究科 造形芸術教育学講座資料室

TEL: 082-424-7140

HP: <http://www.hirodai-biken.com>[広島大学美研(学生)のホームページ]

事前予約
不要
入場無料



講演 「広島のツキノワグマは生き残れるのか?? 厳しい森林状況から考える」

日本各地の森林および大型の野生動物の専門家による、日本における自然環境の現状についての講演会を以下の日程で開催します。

日時: 1月23日(木) 18:30~20:00

場所: 東広島キャンパス 学士会館
会議室1

講師: 金井塚 務(生態学者)
修道大学非常勤講師
広島フィールドミュージアム代表
日本森林生態系保護ネットワーク
(CONFE Japan) 副代表

問い合わせ先: 原爆放射線医学研究所
ゲノム障害病理研究分野 沼本通孝准教授

TEL: 082-257-5828

Email: mnumoto@hiroshima-u.ac.jp

事前予約
不要
入場無料

日本歯科医師会/デンツブライ スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム
日本代表選抜大会で基礎部門第1位

8月21日(水)に東京で開催された平成25年度日本歯科医師会/デンツブライ スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRIP) 日本代表選抜大会において、歯学部6年の坂本真一さんが基礎部門で第1位となりました。

この大会は、歯科学生の研究意欲の向上、そして歯科医療の発展を担う歯科学生の育成を目的に毎年実施されるもので、各大学の代表学生は英語で研究発表を行います。

この功績をたたえ、10月22日(火)に歯学部において表彰式が行われ、歯学部長から坂本さんに楯が手渡されました。



私たちとHU-styleをつくりませんか？

HU-styleの学生広報スタッフは、他の学生スタッフや制作会社の方との企画会議・取材・原稿執筆、プロのカメラマンによる表紙撮影への立ち会いなど、さまざまなことにチャレンジしています。メンバーも学部1年生から院生まで幅広く、それぞれのスケジュールに合わせて活動を行っています。まずは話を聞いてみたいという方は、広報グループ編集担当まで、Eメールでご連絡ください。

E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

皆でデザインしたスタッフジャンパーを着て、取材や配布を行っています！



編集部からのお知らせ

●HU-style (エイチユースタイル) 編集基本方針

○学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしてみよう、人々に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめさまざまな人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。

○本学に関する情報の伝達と周知

●投稿募集

①掲載記事について

1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で直しさせていただきます。紙上で匿名もOKです。



COVERな人第36号

●「祭」な人たち！

コメント

今回の表紙は、大学祭実行委員会委員長の近藤卓馬さん(経済学部2年)と、ホームカミングデー学生チームリーダーの吉田加奈さん(総合科学部2年)。大学祭のステージが建っていたスペイン広場にて、スタッフジャンパーを着てもらい撮影しました。寒い中じっと動かずにポーズを取り続け、「腕が痛い！」と苦戦していましたが、お二人のがんばりもあって楽しい雰囲気の写真になりました。大学祭を中心となって盛り上げたお二人の協力があったこそ、今号が完成しました。皆さんにも、今号を読んで、大学祭で大いに盛り上がった広島大学の一面を見てもらいたいです。

表紙モデル募集！

団体やグループでの参加を募集します。気軽に編集部までお問い合わせください。

主なスケジュール 2014年1月～2014年4月

1.7～	● 授業開始	3月中旬	● 日本学生支援機構奨学金案内の配付
1月中旬	日本学生支援機構奨学金 適格認定奨学金継続願提出締め切り 学生による授業評価アンケート 教育プログラム評価アンケート回答開始	3.23	● 学位記授与式
1.18～19	大学入試センター試験	3.24～25	● 給付奨学金(地方育英会・財団等)の 事前申請受付
1.21	学位記(博士)授与式	3.28	● 学生による授業評価アンケート 教育プログラム評価アンケート 結果公開
1.24	日本学生支援機構大学院第一種奨学金 返還免除候補者申請書類提出締め切り	3月下旬～	● 副専攻プログラム、特定プログラム 登録審査結果通知
1.28～2.10	学期末試験	3月下旬～	● G.ecbo(海外インターンシップ) プログラム募集開始
1月末	前期分「授業料免除申請のしおり」配付 教育・国際室学生生活支援グループおよび 各学部・研究科の学生支援グループで 配付します。	4月上旬	● 新入留学生オリエンテーション G.ecbo day(募集説明会)
2月上旬～	● 卒業予定者によるフィードバック調査 回答期間	4.1～	● 健康診断*
2月上旬～	● G.ecbo(海外インターンシップ) 冬期派遣	4.3	● 入学式
3月		4.4～4.24	● 履修手続期間*
2.1	● 体育会創立50周年記念式典	4.5～6	● 交通安全講習会
2.3	● 前期分授業料免除申請受付開始*	4.9	● 前期授業開始
	申請受付期間は、 「授業料免除申請のしおり」等で 確認してください。	4.10～4.16	● 日本学生支援機構奨学金出願受付* (学部2年生以上)
2.6	● 副専攻プログラム、特定プログラム登録 受付締め切り	4月中旬～	● オリエンテーションキャンプ*
2.11～4.8	● 学年末休業(～3.31) 春季休業(4.1～4.8)	4.18～4.25	● 日本学生支援機構奨学金出願受付* (大学院在学採用)
2.15	● フェニックス駅伝	4月下旬	● 会話パートナー、NOIEオリエンテーション
2.15～3.2	● 第14回STARTプログラム アメリカ派遣	4.30	● 前期授業料振り込み締め切り
2.25～26	● 一般入試(前期日程)		
3.3～3.17	● 第15回STARTプログラム ベトナム派遣		
3.12～13	● 一般入試(後期日程)		
3.14～31	● 第16回STARTプログラム ニュージーランド派遣		

注意…※印のあるものは、学部・研究科などによって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板などで確認してください。

時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

●お問い合わせ・お申し込み

広島大学広報グループ『HU-style』編集担当(連絡先は下記参照)

編集後記

明けましておめでとうございます。本年も学生広報スタッフたちとともに、より良い「HU-style」を作っていきたいと思っております。1月号のテーマは「祭」です。毎年広島大学で行われる「祭」の中でも、広大生にあまり知られていない部分や、当日に向けてがんばる広大生の姿を伝えたい、という思いからこのテーマが選ばれました。今号を読み、2014年度にはぜひ学内外の方に広島大学の行事にご参加いただければと思います。(編集部員Y)

HU-style

HU-style 2014年1月号 Vol.36 (季刊)

編集・発行: 広島大学広報グループ

住所: 〒739-8511 広島市鏡山一丁目3番2号

電話: 082-424-6781 Fax: 082-424-6040

E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

※次号は4月上旬発行予定です。

(4月、7月、10月、1月の年4回発行)